

紅葉の貼り絵を作ろう

— 小学部「自立活動」訪問授業での実践 —

本校訪問教育部

1 はじめに

本投稿では、小学部の自立活動で実践した研究授業を報告する。研究授業での対象児童は、10月上旬から入院しており、自立活動を主とした授業を受けている。「みんなの会」での出席調べでは、「お名前は何ですか？」の声かけに、「○○です。」と自分の名前をみんなに伝えることができている。病室にあるスケジュール表を見て、自分の授業のある日や退院する日を理解しており、自ら見通しを持って授業等に参加することができる。また、折り紙を使った学習では、各色の名称も伝えることができおり、教員や他の児童とのやりとりを楽しむこともできている児童である。

2 実践の内容

(1) 授業のねらい

本児童の自立活動の目標及び内容は、6区分 27 項目の「身体の動き」であり、生活場面での肩や腕、手指等の巧緻性、スムーズな動きの向上をねらいとして設定している。普段の生活・学習場面では、左手を動かして何かを触ろうとしたり、取ろうとしたりすることが多く、右手を使いたがらない様子が見られている。また、物の把握は掌全体を使って上から掴み、左右の手を握る・指でつまむ力も弱い。そのため、これまでの自立活動の時間においても、左右の手で物を掴んだり、親指を主とした4指を使ってつまんだりする力を高めるため課題に取り組んでいる。併せて、生活場面である家庭でも、補助具を使ったペンや箸でしっかりと握る(把握)の練習を行っており、本児童のキャリアを考えた時に優先順位の高い自立活動の目標・内容である。

(2) 本単元のねらい

ICT 機器を活用して、秋の季節感をよりイメージできるようにタブレット端末でちぎり絵を見せる。ちぎり絵の各部分の質感を拡大して見せることができること。また、画用紙や花紙をちぎったり丸めたりして主体的に手を動かすことができたり、スティック糊を使って画用紙に糊を塗ることができたりすることをねらいとした。

授業の流れ

時間	学習内容・学習活動	指導上の留意点及び支援の手だて等
5分 導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始めの挨拶をする。 ・ 手の準備体操 手遊びうた「だして ひっこめて」をする。 ・ 本時の活動の説明を聞く。 ・ タブレット端末でちぎり絵の見本を見る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 始まりが意識できるように促す。 ・ 児童と向かい合って行い、学習開始の意識を持てるようにする。手が動きやすいように、肘、肩、指を手遊びでほぐす。 ・ 活動に見通しが持てるように、ホワイトボードに活動を示し、どのような活動をするかを説明する。 ・ 見本に注目できるように言葉かけをする。

I 実践報告

35分 展 開	<ul style="list-style-type: none">・ちぎる、裂く、丸める。 教員が示す模範と同じように手指を操作して素材を加工する。 <ul style="list-style-type: none">・ぬる。 スティック糊を動かし、枠内を塗る。 <ul style="list-style-type: none">・つくる。 加工した素材を、糊を塗った枠内部分に貼る。	<ul style="list-style-type: none">・手本に注目できるように言葉かけをする。・ちぎりやすいように折り紙の上部に切れ目を入れる。丸めやすいように綿の厚みを整えておく。・本児童一人で素材が破れない時は、最小限の支援をする。・枠内に塗ることができるように、枠内を示して言葉かけをする。・本児童一人で枠内に塗れない時は支援をする。・ちぎったり、裂いたりした素材が重ならないように、「ここに貼りましょう。」の言葉かけをする。
5分 ま と め	<ul style="list-style-type: none">・活動の様子を振り返る。 <ul style="list-style-type: none">・終わりの挨拶をする。	<ul style="list-style-type: none">・児童が頑張った点を評価する。できた作品をみんなの会で友だちに見せることを伝える。・教員に注目できるように言葉かけをして終了する。

3 学習の様子からのまとめ

本時には学習しなかったが、授業の中で秋の季節の歌を歌った。以前から知っている様子でところどころ声を出したり、手を振ったりしてリズムを取ったりする姿が見られた。

また、読み聞かせの時間は、「今日はどんなお話かな。」と絵本や教員に注目してお話に耳を傾けていた。お話の後で簡単な活動（ボールを転がす）を取り入れたことで、本児童が見たり聞いたりするだけでなく、主体的に参加できるように工夫し、いろいろな物に触れたり「楽しい」「またやりたい」等の気持ちを表現する場面を設定することもできたと思う。短い入院期間の中で週に3コマという授業ではあるが、その中で子どもたちの興味・関心を育てながら、自分の気持ちを表現できる時間となるようにこれからも取り組んでいきたい。